

# 生分解性マルチの効果確認試験



①エドビ生分解(透明)



②ビオフィレックス(銀ネズ)



③分解の進行(ビオフィレックス)



④マルチ下の苔(ビオフィレックス)

## 試験目的

生分解性マルチの効果確認試験

## 試験作物 及び品種

南瓜(プッチーニ)

## 試験資材 及び数量(規格)

エドビ生分解(0.018mm×135cm×400m 透明色) 1本  
ビオフィレックス(0.018mm×135cm×400m 銀ネズ色) 1本

## 慣行資材

サンブラックマルチ

## 栽培方法

播種日	収穫日
6月5日	10月上旬
【栽植密度】 株間：80cm	

## 資材使用期間

6月～10月

## 試験区面積

1200㎡

## 試験結果

- (1)作業性について(慣行品との比較)**  
作業性は慣行品と変わらなかった。
- (2)作物の生育状況または、収穫への影響**  
慣行品と変わらないと思う。
- (3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について**  
【優位点】：畑に鋤き込める。  
【問題点】：分解速度が天候、環境に左右されやすい。
- (4)資材の強度・耐久性・崩壊性について**  
試験品は慣行品と比較し、分解速度が速すぎた。
- (5)促成・抑制効果について**  
慣行品と変わらないと思う。
- (6)保温効果について**  
慣行品と変わらないと思う。
- (7)雑草・病害虫の発生について**  
透明色は全く雑草の生長を抑制できていなかったが、銀ネズ色はかなり抑制できていた。

## モニター感想

展張後、雨が続く日が多く、6月末には片側から分解が進み、裂けてしまった。  
透明品は雑草を抑制できず、片側だけ生長していた。銀ネズ色の分解した箇所を調べると苔が生えており、苔が生えていたのは片側で日陰になりやすい部分だった。  
銀ネズ色の雑草抑制効果はかなり効果があると感じた。

## JA担当者の感想(資材推進課 遠藤主査)

展張後、数日で分解してしまい、展張日をもう少し後にした方が良かった。  
分解の原因が、長雨、日差し、風、製品にあるのか明確に分からなかった。  
今回は残念な結果となったが、分解の要因等を考慮し、次年度再検討していきたい。

## 今後の使用について

継続して使用したい。  
銀ネズ色と黒色の比較もしてみたい。

## 将来希望する資材について

花で使用する低コストマルチ